

吉野復興大臣のぶら下がり会見録

(平成29年9月20日(水)11:40～11:45 於) 霞が関コモンゲート中央広場)

1. 発言要旨

霞が関コモンゲートが10年経って、10周年のイベントで、ふくしまフェアをやっていたいただいたということは、本当に嬉しく思います。

福島県のおものはおいしくて、果物もおいしいし、お米もおいしいし、先ほど食べたおにぎり、あっという間に食べちゃいました。おいしかったです。こんなにすばらしい食べ物がある福島でございますから、全国の皆さん、福島の農産品食べてください。お願いします。

あと、お酒です。福島県のお酒は、5年連続金賞なんです。6年をとったところはないんです。5年連続は福島以外にも過去はあったんですけど、6年連続は初めてのことなので、福島県の酒蔵の皆さんは6年連続金賞をとるべく頑張っている、それだけおいしいお酒だと。日本の国から、全世界から認められているんだという、すばらしいものでございます。

あと、抽選会があるんです。1等は5万円分の福島宿泊券です。福島県には温泉もある。自然豊かなものもたくさんあるので、是非1等を当てて福島県の温泉にも入っていただきたいと思います。

あとは、やはり今復興庁でやっている風評被害対策です。福島県の農林水産業の再生に向けて、今年度は47億、来年度は50億を概算要求しており、風評被害対策をやっているんですけど、今までやってきてもなかなか風評を払拭できない。各省庁、パンフレットまでは作っているんですけど、その中身が国民に伝わっていない。どうやれば国民に伝えることができるかという、いわゆるコミュニケーションの問題等々まで含めて、リスクコミュニケーションの戦略を、今年の12月までにつくってほしいという大臣指示を出しましたので、今、鋭意検討していると、このように思います。

2. 質疑応答

(問) 大臣指示で出したそのリスクミの戦略を年内につくると。これは伝え方というソフトの部分は非常に大切になってくると思うんですけども、そこら辺は何かこれまでとはまた違うやり方、例えば、何か違う方法みたいなものというものは何か出てきそうなのでしょうか。

(答) まさに、それを今勉強しているところです。各省庁の局長さんクラスで、リスクコミュニケーションのプロジェクトチームを新

たに組織をして、そこで研究してもらう。

(問) あと、福島の産業・生業の復興のためにも必要な二重ローンの法案の改正を進めたいというお話があったと思うんですけども、今回、解散選挙の可能性も出てきています。こちらの改正に向けて何か影響は出そうなんでしょうか。

(答) 二重ローン対策はやはり法律をつくらなければならないものですから、解散総選挙が噂されておりますけど、十分に国会審議を経て、法案作成のために、今そのためのニーズ調査、これをきちんとやっております。

大体、次の臨時国会までには資料はそろうと思いますので、解散総選挙が噂されておりますけれども、それを踏まえて次の国会に提出できればなと。これは議員立法ですからね。

ただ、我々はそれに裏付けとなる資料をいつでも出せるスタンバイだけはしております。

(以 上)